

化學品評估及分級管理工具箱

v2017

化學品評估及分級管理 宣導重點&策略

全面掌握、分層管理、多元評估、控制區分、科學為本
事業單位可依企業規模選擇適用的工具進行評估及分級管理！



具GHS健康危害
(19000種↑)

具容許暴露標準
(491種)

應實施監測
(91種)

中小企業：我國CCB工具、日本實施風險評估支援系統

大型企業：進階工具箱

英國COSHH要點、德國EMKG、新加坡SQRA、荷蘭Stoffenmanager、
歐洲ECETOC TRA

從事特別危害健康作業之勞工人數100人以上，或總勞
工人數500人以上：採樣分析或定量推估模式

依勞工作業環境監測實施辦法所定之監測及期程，實施
暴露評估，必要時輔以其他半定量或定量評估模式或工
具。

工具箱內容

- 英國物質健康危害控制要點（COSHH要點）
 - 德國工作場所危害物質管控計畫（EMKG）
 - 日本實施風險評估支援系統
- } 與ILO CCB相似
- 新加坡評估職業暴露有害化學品半定量方法（SQRA）
 - 荷蘭物質管理線上工具（Stoffenmanager）
 - 歐洲針對性風險評估（ECETOC TRA）

日本實施風險評估支援系統

介紹

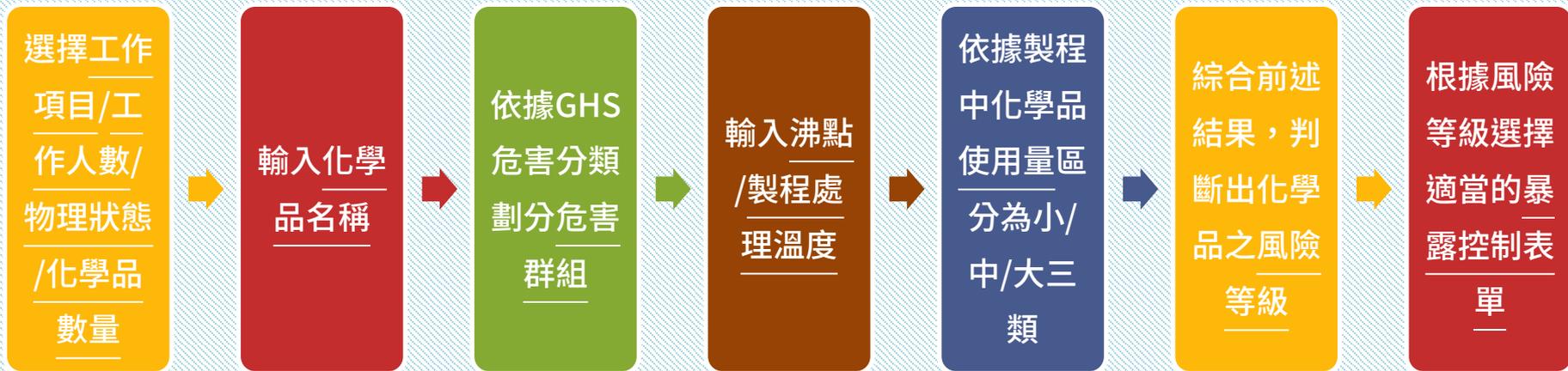
- 由日本厚生勞動省（MHLW）開發建置。
- 參考ILO ICCT作法，建置提供線上風險評估系統。
- 適用於化學品物理狀態為固體及液體之評估。

- 線上工具：
 - http://anzeninfo.mhlw.go.jp/ras/user/anzen/kag/ras_start.html
- 另有建置適用於礦物性粉塵、金屬粉塵的評估工具。
- 網頁亦提供歐洲ECETOC TRA及德國EMKG工具供參考。

所需參數及資料參考來源

屬性	參數	資料參考來源
危害	GHS危害分類	安全資料表 (SDS) #2
暴露	化學品使用量	作業現場資訊
	固體粉塵度/液體揮發度	安全資料表 (SDS) #9

方法流程/步驟



工具介面

リスクアセスメント実施支援システム

簡易なリスクアセスメント

化学物質の健康有害性についての簡易なリスクアセスメント手法として、「コントロール・バンディング」があります。途上国の中小企業を対象に、有害性のある化学物質から労働者の健康を保護するために、簡単に実用的なリスクを入れて開発した化学物質の管理手法です。

化学物質の有害性とばく露情報の組み合わせに基づいてリスクを評価し、必要な管理対策の区分(バンド)を示すような特徴があります。

- 労働者の化学物質へのばく露濃度等を測定しなくても使用できる
- 許容濃度等、化学物質のばく露限界値がなくとも使用できる(粉じん等が生ずる作業は除く)
- 化学物質の有害性情報は必要である

【液体または粉体を扱う作業(鉱物性粉じん、金属粉じん等を生ずる作業を除く。)]

以下の画面で、条件を選択し、必要な情報を入力すると、リスクレベルと、それに応じた実施すべき対策及び参考となります。

(注意事項) 対策シートはあくまで安全衛生対策の参考としていただく材料です。労働安全衛生法令によりばく露防止対策が規定されている場合は、それに基づいた対策を実施することが必要です。

[リスクアセスメントを開始](#) [マニュアル\(平成27年3月版\)を表示](#)

リスクアセスメント実施支援システム

[マニュアルを表示](#)

Step1 > Step2 > Step3 > Step4

ステップ1: リスクアセスメントを行う作業
 まず始めに、リスクアセスメントを行う作業を決めます。

- どこで行っているか
- 何人で行っているか
- 取り扱っている化学物質は何か またその性状はどのようなものか

有害性情報がわかるもの(容器に表示されたラベル、SDSなど)もご用意ください。

※ は必須項目です。

タイトル	<input type="text"/>
担当者名	<input type="text"/>
作業場所	<input type="text"/>
作業内容 ※	<input type="text" value="貯蔵及び保管"/>
作業者数 ※	<input type="text" value="10人未満"/>
液体・粉体 ※	<input checked="" type="radio"/> 液体 <input type="radio"/> 粉体
化学物質数 ※	<input type="text"/>

[終了](#) [次へ](#)

※本サイトでは、入力情報の収集・蓄積を行っていません。

ガイド

タイトル、担当者名、作業場所
最後に出力される「レポート」に表示されます。入力は任意です。

作業内容
選択肢の中から最も内容の近いものを選びます。最後に表示される対策シートの選択に影響があります。

作業者数
選択肢の中から通常作業での人数を選びます。

液体・粉体
主に取り扱う化学物質の性状で選択します。
注意) 液体と粉体を同時にリスクアセスメントすることはできません。混練などの場合は、液体・粉体それぞれ別個にリスクアセスメントをしてください。

化学物質の数
その作業で取り扱うことになる化学物質の種類の数を入力します。